Aichi Shukutoku University
www.aasa.ac.jp/institution/international/

November 2016
INE No.61
International News Exchange

編集・発行
愛知淑徳大学　国際交流センター
■星が丘キャンパス
愛知県名古屋市千種区桜が丘23
TEL（052）783-1590／FAX（052）783-1578
■長久手キャンパス
愛知県長久手市片平二丁目9
TEL（0561）63-7737／FAX（0561）63-7735

グローバルラウンジがオープンしました

Pedro 先生自己紹介

Aloha, my name is Pedro (ペドロ) Faingnaert (フェニヤート). You can find me at the Global Lounge in Building 1 at the Hoshigaoka Campus.
I enjoy hiking, traveling, movies, and foreign cuisine.
My childhood years were spent in Brazil, I attended college in Belgium and the USA, and spent the last 20 years in Hawai`i.
My adventure in Japan has just begun and I have loved every second so far. In addition to English, I speak fluent Portuguese, Dutch and French.
My favorite music is Bossa Nova and I absolutely love tempura, dark chocolate and pastries.
Language education is my passion.
I believe that languages open the doors to the world and all of its mysteries.
I love the Global Lounge because it provides weekly lunch time conversation sessions in Chinese, Korean, English, and Portuguese at the Stellar Studio. The lounge organizes a weekly movie afternoon, a game afternoon, and current event discussions. You have the opportunity to read newspapers, books, movies, comic books, and magazines, all in English. Come and check it out!

Global Lounge とは

**Global Lounge は、2016年4月に星が丘キャンパス1号館4階にオープンしました。
この場所は、両キャンパスの全学生が気軽に外国語を使い、学べる場所です。Global Lounge 内では日本語禁止ですが、常駐している Pedro 先生が楽しくサポートしてくれますので、英語が得意な人も苦手な人も気軽に足を運んでください。**

こんなことが出来ます!!

- 雑誌や本、マンガ、新聞を英語で読みたい
- BBC（イギリス）、CNN（アメリカ）のニュースや、映画を見たい
- 英語のスピーキング力を高めたい
- 英語でゲームをしたい
- 異文化、外国語を学びながら新しい友達作りをしたい

場　所 星が丘キャンパス1号館4階　交流ラウンジ WEST 内
開館時間 授業期間中の平日　10：00～18：00まで（メンテナンス等での閉館あり）
開館・イベントカレンダーは毎月 CampusSquare で配信しています。

Global Lounge インタビュー

グローバルコミュニケーション学部1年生の尾出（おで）陽子（ようこ）さんと、三好黎（みよしれい）さんにお話を伺ってみました。

週に何回くらい利用していますか？
尾出さん（以下、O）：3～4回利用しています。
三好さん（以下、M）：僕は2～3回足を運んでいます。

Global Lounge では主に何をしていますか？
O：私はPedro先生と気軽におしゃべりをしたり、流れているTVを見たりしています。
M：僕はReadingの課題をGlobal Loungeですることが多いです。読み物が色々そろっているので、読み終わっても次の新たな1冊にこの部屋で出会えます。
O：Pedro 先生は、流れている TV からトピックを拾って会話につなげてくれるので、話題に事欠くことはありません。そして、英語にあまり自信がなくても、上手にサポートしてくれるので、様々な事を学びながら英語のスキルを高めることができると実感しています。

Global Lounge の魅力とは？
M：Global Lounge では、CNN と BBC が常に流れていて、日本と現地での報道のされ方の違いが分かったり、それについて Pedro 先生やその場にいる学生とディスカッションできたりすることでしょうか。
O：Global Lounge はニュースとかお堅いことだけでなく、今、流行していること、ファッションや食べ物…、最近だとポケモン GO© の話など、何を話してもいいので、英語を気軽に使えることが Global Lounge の最大の魅力のように感じます。
M：英語圏への留学を目指す人や、英語のスキルを高めようと思ったとき、英会話学校に通おうか、何か教材を買おうかと考える人が多いと思います。Global Lounge に行けば、無料で英会話練習ができ、色々な教材が揃っているというのはすごいことだと思います。
O：Pedro 先生は色々なイベント（ゲームや映画上映会など）を企画してくれるので、まずは気軽に参加してみてはどうかな、と思います。英語だけでなく、Global Lounge 併設の Stellar Studio で開催されている「会話室」では中国語、韓国語、ポルトガル語を学ぶことができます。語学だけでなく、異文化を学べる Global Lounge は、留学に興味があるなしに係わらず、自分の中の文化を広げ深める良いきっかけになってくれると思います。
M、O：誰でも利用できる場所なので、気になったらまずは気軽に足を運んでみてください！

尾出さん、三好さん、ありがとうございました！

Please come and visit the Global Lounge!!

お知らせ

Global Lounge では、第一回クリスマスパーティーを企画しています。

今後も楽しい催し物が続々と開かれる予定です。ぜひ“グローバルラウンジパスポート”をゲットして、スタンプを集めてみてください。

※日付はまだ未定です。CampusSquare などをよくチェックしていてください。

2016年度 iHouse RAご紹介

RA とは、iHouse で留学生の生活をサポートしてくれる「レジデント・アシスタント」です。
2016年８月からの１年間は、この2名に決まりました。

はじめまして、**冨田咲良**（交流文化学科３年）です。留学生と共に学び、日本や彼らの母国をよく知る一年間にしたいです。非日常が日常になるアイハウスでの生活を目一杯楽しみます！日本人学生との交流イベントも企画するので、ぜひ参加してくださいね。

檜木 勇作
国際交流センター長

鈴木千尋（国文学科３年）です。文化や生活の違いをお互いに理解し合い明るく楽しく笑顔でアイハウスの生活を送れるようにしたいです。アイハウスでの一年間を振り返ってみたときに楽しかったと言ってもらえるように頑張ります！！

2名は留学生と一緒に iHouse で生活をしながら、交流イベントなども企画してくれています。イベント情報は国際交流センター掲示板やＨＰで告知する予定です。お見逃しなく！

「iHouse」便り

International House

アイハウス管理事務室より、2016年２月から８月までの利用実績をお知らせします。

	2016年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
和室 1		1	1	2	4	4	5
和室 2		1	1	3	2	5	
和室 3	1	2		2	2	3	
和室 4	2	2		2	2	3	
セミナー室 1	5	3	1	3	9	5	7
セミナー室 2	2	4	3	3	7	9	4
調理室	3	2	1	4	9	6	7
ラウンジ	6	6	3	12	13	9	4
パントリー	3	2		4	4		3
茶　室				5			
ゲストルーム S-1	3	3	2		3	2	1
ゲストルーム S-2		1		1	3	2	
ゲストルーム T-1			2	1	1		

アイハウスは2016年10月で３周年を迎えました。学内外での認知度も上がり、ますます多くの方に利用されるようになってきています。様々な要望に応え、備品なども年々充実してきました。今後も大勢の方々に気持ちよく使っていただくことを目指していきます。
利用を希望する方は、アイハウス管理事務室までお問い合わせください。

協定校、続々と増えています

2015-16年度にかけて新たに交流協定を結んだ大学の中から、交換留学で行くことのできる2大学をご紹介します。

チェコ
パラツキー大学
チェコで２番目に古い、歴史ある大学です。
http://www.upol.cz/en/

台　湾
文藻外語大学
台湾で唯一の外国語大学です。
http://www.wzu.edu.tw/front/bin/home.phtml/

各協定校の詳細は『海外留学の手引き』で確認できます。『海外留学の手引き』は毎年４月に更新されます。また、最新情報は各学期始めに開催する交換留学説明会で発表されますので、交換留学を希望する人は必ず出席してください。

2016年度版『海外留学の手引き』

2016年度 夏季派遣交換留学

後列
- **服部 公美**さん　交流文化学科３年　南京師範大学（中国）
- **日比 望**さん　交流文化学科３年　南京師範大学（中国）
- **山本 大河**さん　交流文化学科３年　南京師範大学（中国）
- **太田 真由**さん　交流文化学科３年　南京師範大学（中国）
- **大原 彩花**さん　交流文化学科３年　南京師範大学（中国）
- **東 美玖**さん　交流文化学科３年　南京師範大学（中国）

**今年度の夏季派遣は写真の14名の学生が選ばれました。
14名はそれぞれ、海外の協定校へ半年間もしくは1年間留学します。**

小崎 みわざさん　交流文化学科３年　パラツキー大学（チェコ）

鈴木 紗英さん　交流文化学科３年　パラツキー大学（チェコ）

村瀬 真以さん　英文学科３年　パラツキー大学（チェコ）

前列
- **菊本 朋里**さん　交流文化学科３年　ウエスト・バージニア大学（アメリカ）
- **小川 実花**さん　交流文化学科２年　文藻外国語大学（中国）
- **立木 美帆**さん　交流文化学科２年　北京師範大学（中国）
- **村上 聡子**さん　交流文化学科３年　北京師範大学（中国）
- **水鳥 好美**さん　交流文化学科３年　北京師範大学（中国）

・氏名
・学部、学科、学年
・交換留学先

どんどん使おう、外国語

せっかく勉強した外国語、使わないともったいない！
グローバルラウンジのほかにも、外国語を使うチャンスはたくさんあります。
留学生と交流してみる？コンテストに出てみる？留学や、短期研修に行ってみる？
紙面を参考に、ぜひ、外国語を使う機会を見つけてみてください。

短期研修参加者レポート

梨花女子大学校（韓国）

恒川 瑞稀さん
メディアプロデュース学部・
メディアプロデュース学科 2年

ホームステイ先のオンニと一緒に（左が恒川さん）

2016年度韓国・梨花女子大学校短期語学研修に参加した恒川瑞稀さんに、現地で感じたことをいくつか紹介してもらいます。

Q 韓国で実際に韓国語を使ってみてどうでしたか

A 短い文でも、自分が発したことが通じて返事がもらえるだけで十分な会話が成立するので、充実感を得ることが多かったです。ホテルの従業員に頼み事をした際、必死に韓国語を駆使して会話を続けようとする気持ちが大切だと気づきました。

Q 梨花女子大学校での韓国語の授業はどうでしたか。

A レベルは大きく3段階に分かれており、1クラス10人程度です。日本人が多いですが、台湾人や香港人もおり、年齢層も幅広いです。授業では実用的な文法を沢山学ぶことができ、授業後すぐに会話に取り入れて楽しんでいました。宿題では長文を書き、先生に添削をしてもらえるので非常に身になりました。

授業

Q 研修中は現地の人たちとはどのようにコミュニケーションを取りましたか。

A トウミ（注:現地サポート学生）とは連絡を取りながら会う日程を決めていました。言葉が上手く伝わらないときはお互いに辞書を使っていました。ホームステイのオンニ（注:年上の女性）とは、ステイの終了後も連絡を取り合って大学近辺の店で食事をし、オススメのカフェに案内してもらいながら距離を縮めることができました。

トウミと一緒に（右が恒川さん）

Q 今後、梨花女子大学校語学研修参加を考えている学生へのアドバイスをお願いします。

A 3週間は長く感じるかもしれませんが、あっという間です。ホームステイや日韓共同授業など、他では経験できないプログラムが多いため毎日が充実しています。韓国語を使うことに慣れる場として最適です。

修了式

梨花女子大学校校内

交換留学体験レポート

ウエスト・バージニア大学（米国）

（留学期間 2015年8月～2016年5月）

坪井 美幸さん
文学部英文学科 4年

交換留学経験者の坪井美幸さんに、留学を通してどのように語学力が向上したか、その勉強方法について聞いてみました。

留学前

Q 留学前に、語学力を上げるためにどのような勉強をしていましたか。

A 留学前は、TOEFLiBT の参考書を使い勉強していました。特にリーディングが苦手だったので、リーディングに特化した参考書を買い、毎日1パッセージずつ進めて少しでも語彙力が伸びるように勉強しました。

留学中

Q アメリカ留学中に日常生活や大学の授業など、英語で苦労したことはありますか。

A リスニングには自信があったのですが、現地の大学の講義で、アメリカ南部の方言がある教授が何人かいらして聞き取るのに苦労しました。初めは隣に座っている学生に話しかけ、説明してもらうようにすることで授業についていけるようにしました。

留学後

Q 英語の環境を離れて、今までの語学力を維持するため何かしていますか。

A YouTube や Hulu、Netflix などの動画サイトを使い、字幕を付けずに見て、シャドーイングをするようにしています。また、TOEIC や IELTS に申し込み、常に何か目標があるように勉強をしています。

留学の先輩に聞く

坪井さん流英語の勉強方法

Reading BBC News のアプリでニュース記事を読んでいます。日本で報道されているニュースを海外の視点で読むことが出来るので、興味を持って読み進めることができます。

Speaking 映画を見てシャドーイングを行い、何回も反復練習をし、実際の会話の速さで話すように訓練しています。

Writing 日常生活で目に入ったものを英語の文章に書きおこすことを意識しています。また、英語で日記をつけています。

北京師範大学（中国）

（留学期間 2015年9月～2016年6月）

藤田 なつみさん
交流文化学部交流文化学科 4年

万里の長城にて（左が藤田さん）

留学に行くと、まず誰しもが思い知らされる自分の語学力。そこからどう乗り越えたのか、中国・北京師範大学に交換留学した藤田なつみさんに聞きました。

北京で中国語を学ぶ

旅行も含めて三度目の中国生活は、1週間で泣くところからスタートしました。会話のスピードの違いや言い回し、環境の変化、プレッシャー、それらに対するストレスから弱気になってしまったのです。

そこで気持ちを切り替えて勉強方法を見直し、自分の趣味に関係する中国語から勉強することにしました。音楽・映画・漫画・旅行・スポーツなど、すべて中国語を通して見ることで自然と中国語が入ってくるようになったのです。「好きな道に辛労なし」とはまさにこのことです。話すことができる話題とボキャブラリーが増え、誰と話しても会話が途切れることはなくなりました。自身の中国語が伸びることで自信がついて積極的に会話へ参加でき、交流の場も広がっていきました。

最初は苦戦を強いられるかもしれません。けれど、ひとつずつ乗り越えて成長を実感することができました。日本にいても自分を伸ばすことはできますが、中国でしか得られない経験を積めたことを誇りに思います。成長のチャンスはどこにでもあります。言葉と習慣の違う国で失敗を重ねながら、楽しみ、そして無事に留学を終えられたことを、支えてくれた多くの人に感謝します。

現地の学生とパーティー

日中友好青年団の張家口ボランティア仲間と

現地で成人式を企画・開催しました

全学中国語教育運営委員会主催

中国語スピーチコンテストが開催されました!

2016年５月27日、星が丘キャンパスで、第11回愛知淑徳大学中国語スピーチコンテストが開催されました。今年は新たに「朗読の部」が設けられ、中国語の勉強を始めたばかりの１年生５名が、身振りを交えながら課題文「**小小鸭子**（小さなアヒル）」を披露しました。「スピーチの部」には予選を通過した７名が出場しました。今年は駐名古屋中華人民共和国総領事館から「総領事賞」が授与されることとなり、受賞者には賞状と副賞のほか、記念の楯が与えられました。

審査結果

■スピーチの部

総領事賞
渡邉 裕依花さん 交流文化学部3年
演題：**留学的收获**（留学で得たもの）

最優秀賞
小﨑 杏樹さん 交流文化学部2年
演題：**我的汉语**（私の中国語）

優秀賞
水鳥 好美さん 交流文化学部3年
演題：**我的天津短期留学**（私の天津短期留学）

■朗読の部

優秀賞
足立 春佳さん 交流文化学部1年

全学韓国・朝鮮語教育運営委員会主催

韓国語作文コンテストが開催されました!

2016年６月４日、星が丘キャンパスで、第１回愛知淑徳大学韓国語作文コンテストが開催されました。記念すべき第１回目の大会には、両キャンパス合わせて29名もの応募がありました。出場者は一生懸命辞書を引き、80分間をいっぱいに使って自分の思いを作文に込めていました。

審査結果

最優秀賞
神谷 舞子さん メディアプロデュース学部4年
題名:한국어와 나의 5년 – 유학을 통해서 알게 된 것 –(韓国語とわたしの5年—留学を通じて学んだこと—)

優秀賞
山脇 梨花さん 交流文化学部4年
題名:한국어의 필요성 – 한국어는 나의 비타민이다 –(韓国語の必要性—韓国語はわたしのビタミンなのだ—)
水飼 由香莉さん 心理学部4年
題名：내가 좋아하는 "참견하는 사람들"(わたしが好きな「世話焼きの人たち」)

審査委員賞
吉田 早希さん 交流文化学部4年
山本 明日香さん 交流文化学部2年

※日本語タイトル翻訳はチョ スルソップ先生

2016年 秋学期留学生別科新入生紹介

李 年珠（イ ヨンジュ）さん ［韓国］

URBANKOVA Klara（ウルバーンコヴァー クラーラ）さん ［チェコ］

金 鍾泫（キム ジョンヒョン）さん ［韓国］

金（キム） ソルさん ［韓国］

時 秒（ジ ミョウ）さん ［中国］

朱（シュ） 笛（テキ）さん ［中国］

SRAMO Kinga（シュラモー キンガ）さん ［ドイツ］

鄭（ジョン） 騎雄（ギウン）さん ［韓国］

展（テン） 宏（コウ）さん ［中国］

馬（バ） 卓然（タクゼン）さん ［中国］

文（ムン） 昭然（ソヨン）さん ［韓国］

葉（ヨウ） 馨妤（ケイユ）さん ［中国］

LIPPOLIS Lucia（リポリス ルチア）さん ［イギリス］

劉（リュウ） 婧彤（セイトウ）さん ［中国］

盧（ロ） 佳岌（カブン）さん ［台湾］

盧（ロ） 長煜（チョウイク）さん ［中国］

2016年度　留学生別科入学式

8月30日（火）愛知淑徳大学国際交流会館（通称アイハウス）にて2016年度留学生別科入学式が行われました。今年は新入生16名を迎え、学長より入学許可と祝辞が贈られました。新入生代表スピーチでは、ドイツのハンブルク大学からの交換留学生シュラモー・キンガさんが、日本に来ることができた喜びと、日本語学習だけでなく文化や様々なことを学び成長していきたいと抱負を語りました。入学式の後にはティーパーティーが行われ、新入生たちは先生方や日本人学生との歓談を楽しみました。

今年の留学生別科生は継続生と合わせて6カ国17名となりました。9月から日本語や書道、華道などの日本文化を学んでいます。

2016年　複数学位取得留学生

新入生紹介

中国の天津外国語大学より、4名の複数学位留学生を受け入れました。2年間の留学プログラムで、愛知淑徳大学での学位取得を目指して、ビジネス学部の授業に参加します。

賈（カ） 若谷（ジャクコク）さん ［中国］

高（コウ） 夢露（ムロ）さん ［中国］

強（キョウ） 皓倫（コウリン）さん ［中国］

楊（ヨウ） 銘宸（メイシン）さん ［中国］

●編集後記

今号は外国語を使おう！というテーマでしたが、ある調査によると、留学経験者に企業が求めている資質・能力の第1位は「語学力」ではありません。1位は「バイタリティー」、2位は「コミュニケーション能力」だそうです。その他、「発想の豊かさ」や「異文化対応力」など。言語学習や異文化交流を通して、たくさんのことを身に付けていけたらいいですね。（ま）